

大学院特別講義

演題：中鎖脂肪酸の栄養生理機能
—栄養補給から最新の話題まで—

講師：大東力カ才株式会社
取締役執行役員 研究開発部長 兼 品質保証管掌

青山 敏明 先生

徳島大学栄養学科 昭和 60 年卒業 18 期生
栄養学研究科修士課程 昭和 62 年修了

日時：平成 30 年 6 月 20 日（水）17:00～18:30

場所：藤井節郎記念医科学センター 2 階多目的室(1)(2)

青山先生は、日清オイリオグループ株式会社ご在職中には、中鎖脂肪酸の効用を利用し、体脂肪のつきにくい食用油「リセッタ」を開発され、大東力カ才株式会社では取締役執行役員としてご活躍されている本学栄養学科のご卒業生です。今回は、下記の内容でご講義させていただきます。

多くの先生方、大学院生、学部学生、興味をお持ちのすべての方々のご来聴を歓迎致します。

■要旨■

中鎖脂肪酸は炭素数 6～12 の脂肪酸である。中鎖脂肪酸は長鎖脂肪酸とは消化吸收経路が異なることから、未熟児や手術後の栄養補給に古くから使用されてきた。中鎖脂肪酸の栄養効果については、今までに体脂肪蓄積抑制効果、低栄養改善効果、脳機能改善効果等様々な効果が報告されている。本講義では中鎖脂肪酸の起源、性質等を説明した後、栄養生理効果については、栄養補給から難病治療の可能性に関する最新の話題まで概説する。

※本講義は、大学院医科学教育部、栄養生命科学教育部、口腔科学教育部の大学院特別講義ならびに、クラスターコアセミナー（骨と Ca クラスタ）を兼ねています。

連絡先：生体栄養学分野 二川 健（内線 9248）